

# 第5回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年9月10日(月)午後3時～同5時10分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、平井敏博、  
土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、栗原英見、  
荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会  
<準備委員長> 伊藤公一
- 日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男
- 欠席者 <常任理事> 川添堯彬、相馬邦道、宮崎 隆

[議長 江藤会長]

## 1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

## 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

## 3. 報 告

### 1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告(平成19年7月9日～9月9日)
- 第4回常任理事会会議録(平成19年7月9日開催)
- 第2回理事会会議録(平成19年7月9日開催)

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

□第21回日本歯科医学会総会関係報告（平成19年7月9日～9月9日）

3) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）理事会報告

黒崎副会長から、次の資料に基づき報告がなされた。

□2007年度第3回JADR理事会日程（2007年8月27日開催）

□第55回JADR総会・学術大会開催案内

会期：2007年11月17日（土）、18日（日）

会場：鶴見大学記念館

□第56回JADR総会・学術大会開催案内

会期：2008年11月29日（土）、30日（日）

会場：愛知学院大学歯学部

なお今後、JADRとの連携協力については、栗原常任理事が担当することとした。

4) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会収支計算書（平成19年4月1日～平成19年7月31日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成19年4月1日～平成19年7月31日）

5) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

### ③歯科医療技術の評価・再評価の提案書の提出

黒崎副会長から、標記について、8月31日に専門分科会を対象に厚生労働省主催によるヒアリングが実施された旨、資料に基づき報告がなされた。

### ④歯科診療ガイドラインの作成

江藤会長から、標記について、学術研究委員会の下部組織として「歯科診療問題調査研究プロジェクト会議」を設置し、診療ガイドラインの作成に着手することが説明された。なお、同会議については、平田創一郎氏（東京歯科大学 講師）を中心にメンバーを構成し、佐藤常任理事が担当することとした。

## (2) 歯科医療技術革新の推進

### ▶平成19年版歯科医療機器産業ビジョンについて

江藤会長から、冊子に体裁を整えた標記ビジョンについて、説明がなされた。

## (3) 学会機構改革の推進

### ①日本歯科医学会認定分科会一覧表

井出副会長から、第78回評議員会で本学会認定分科会への登録が可決・承認された10学会について標記資料に基づき報告された。

また、9月21日に当該学会関係者を招集し、本学会認定分科会の活動に係る説明会を開催する旨、報告がなされた。

### ②認定分科会登録申請について

井出副会長から、標記申請について、8月1日の公示より同31日までの受付期間中に、1学会（日本磁気歯科学会）より申請の届出があった旨、資料に基づき報告がなされた。

なお、これを受け、専門分科会資格審査委員会に、当該学会の本学会認定分科会への登録可否について諮問することとした。

#### (4) 専門医制度の確立

##### ①第2回専門医制協議会報告（8月17日開催）

住友総務理事から、標記協議会の進捗状況および今後の運営予定について、会議録に基づき報告がなされた。

##### ②広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

（広告することができる医師等の資格名の追加：平成19年8月2日受理）

- ・有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会：大腸肛門病専門医
- ・特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会：婦人科腫瘍専門医
- ・有限責任中間法人 日本ペディアクリニック学会：ペディアクリニック専門医
- ・（社）日本看護協会：感染症看護専門看護師 他7専門看護師関係

#### (5) 国際交流の推進

江藤会長から、標記について、日中歯科医学大会2008（仮称）が平成20年9月28日（日）・29日（月）の2日間、西安で開催することを日本・中国間で合意したとの報告がなされた。

#### 6) 第24回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」の開催について

佐藤常任理事から、標記「集い」の開催について、募集要綱・ポスターを基に協力要請を含めた告知がなされた。

○開催日：平成20年1月12日（土）

○会場：新歯科医師会館 1階大会議室

#### 7) 歯科関係者のための食育推進支援ガイド

住友総務理事から、日本歯科医師会より発刊された標記支援ガイドについての報告がなされた。

#### 8) 日中歯科学学生交流事業への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

○依頼元：東京歯科大学国際医療研究会 部長 眞木吉信

9) 平成19年度（第29回）沖縄研究奨励賞推薦応募について

住友総務理事から、標記奨励賞の推薦応募について、資料を基に報告がなされた。なお、この件については、専門分科会へ情報提供することとした。

10) 会長報告（日本歯科医師会第5回理事会報告等）

江藤会長から、日歯第5回理事会（平成19年8月30日開催）協議事項について、次の資料に基づき報告がなされた。

○平成20年度歯科保健医療対策関係予算概算要求の概要

（厚生労働省医政局歯科保健課）

○後期高齢者医療制度への具体的提言（試案）

○日歯に対する各都道府県歯会からの各種要望書、およびその回答

11) その他

なし。

#### 4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①糖尿病患者の歯周病診療ガイドライン（仮称）の作成

江藤会長から、日本歯周病学会（理事長：山田 了）に依頼している標記ガイドラインの作成については、同学会内に対処委員会を設置し、平成20年秋頃に答申予定であるとの回答を得た旨の報告があり、これを全会承認した。

②「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会（案）について

江藤会長から、厚生労働省より「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」について、11月中に答申いただ

きたいとの要請があった旨報告がなされた。

これを受け、本学会の対応策として、検討会を早急に立ち上げ、迅速に対応する提案があり、全会承認した。

なお、人選については会長一任とし、メンバーおよび検討項目及び審議内容について、次回本常任理事会に報告することとした。

## (2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長から、標記重点項目の推進について、歯科医療技術革新推進協議会活動の一環として、①歯科医療機械・材料の承認・認可に関する問題点、②改正薬事法の運用について協議することを目的に、厚生労働省担当室長ならびに課長との面談を予定している旨、資料を基に報告され、全会承認した。

## (3) 学会機構改革の推進

### ▶ 専門分科会資格審査委員会への諮問について

井出副会長から、認定分科会への新規登録申請を受理したことに伴う、標記委員会への諮問について諮られ、原案どおり全会承認した。

□諮問事項：認定分科会 新規登録申請学会の登録の可否について

□答申の締切：11月末日

## (4) 専門医制度の確立

住友総務理事から、標記について、歯科保存治療専門医（日本歯科保存学会）、補綴歯科専門医（日本補綴歯科学会）および矯正歯科専門医（日本矯正歯科学会）の専門医資格認定団体の申請に係る問題を解決するため、専門医制度そのもののあり方について、今後設置予定の専門医制審議会において審議したいとの提案がなされ、全会承認した。

## (5) 国際交流の推進

### ① F D I における日歯支援体制の構築

江里口常任理事から、10月24日からドバイ（アラブ首長国連邦）において開催される F D I 年次世界歯科大学について、開催の詳細が説明されるとともに、本学会への協力方について改めて依頼がなされた。

②第 95 回 F D I 年次世界歯科大会への本学会代表の派遣について  
住友総務理事から、標記について諮られ、原案どおり決定した。

□会 期：平成19年10月24日（水）～27日（土）

□派遣先：アラブ首長国連邦・ドバイ

□派遣者：住友総務理事（派遣期間：10月19日～27日）

事務局 1 名（派遣期間：10月19日～27日）

## 2) 事業計画の推進

### (1) 顕彰審議会への諮問について

住友総務理事から、標記審議会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

□諮問事項：平成19年度日本歯科医学会会長賞候補者の選考

□答申の締切：11月末日

### (2) 日本歯科医学会誌第 27 巻の企画（座談会）について

高津常任理事から、標記座談会の企画について、資料に基づき提案され、原案どおり全会承認した。

### (3) 電子ジャーナルへの参画について

高津常任理事から、標記について諮られ、協議の結果、参画する方向で継続審議とした。

### (4) プロジェクト研究費 公募用研究テーマ案について

佐藤常任理事より、標記研究テーマ案について諮られ、協議の結果、①学術研究委員会委員より応募のあったテーマ案（全 29 題）に、本学会として緊急性の高い課題を加味した中から 3 題程度を選考し、②選考したテーマについて、専門分科会および認定分科会に対して研究者の公募を実施することが提案され、これを全会承認した。

なお、研究テーマの選考作業は、学術研究委員会の正副委員長および学会四役で行うこととした。

(5) 平成 20 年度学術講演会の企画について

土屋常任理事より、標記講演会の企画について諮られ、協議の結果、来年 4 月より後期高齢者医療制度が施行される見通しであることから、「後期高齢者」および「医療連携」をキーワードにテーマを再検討するとともに、会場、講師等についても再考することとした。

(6) 日歯生涯研修事業への協力について

①学術論文のデジタルデータ提供について

住友総務理事から、標記について諮られ、協議の結果、専門分科会へ協力依頼することとした。

②新日歯生涯研修事業に向けたモニターテストの実施について

住友総務理事から、標記について諮られ、協議の結果、本学会専門分科会より、日本歯周病学会ならびに日本歯科麻酔学会の 2 学会をモニターとして推薦するべく、両学会に協力依頼することとした。

(7) 「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル策定委員会（仮称）」委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦について諮られ、協議の結果、推薦委員の選考については会長に一任することとした。

(8) 財団法人日本救急医療財団・心肺蘇生法委員会医療関係者教育研修ワーキンググループ委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦について諮られ、仲西 修氏（九州歯科大学 教授）を推薦することが提案され、これを全会承認した。

(9) 「日本口腔検査学会（仮称）」設立への対応

住友総務理事から、標記学会設立への対応について諮られ、協議の結果、本学会としては同学会の設立について賛同することを決定し、設立総会への対応等については、江藤会長に一任することが提案され、



これを全会承認した。

- (10) 歯科に特化した「学会データベース・文献検索システム」について  
住友総務理事から、標記について諮られ、協議の結果、時機を見て専門分科会へ情報提供することとした。

- (11) 日本歯科医学教育学会 シンポジウム「改正医療法」への後援名義  
貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：日本歯科医学教育学会 理事長 東理十三雄  
同学会 卒後教育委員会 委員長 住友雅人

- (12) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

#### 10) その他

- (1) 日本歯科医学会認定分科会会員管理事務代行に関する覚書について  
住友総務理事から、標記覚書の締結について諮られ、原案どおり決定した。

- (2) 日本歯科総合研究機構活動報告について

江藤会長から、日本歯科総合研究機構との連携協力のため、今後、石井拓男研究部長より同機構の活動状況について報告いただきたいとの提案がなされ、全会承認した。

#### 5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。